

スプリングセミナー

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックも発生から2年が経過しました。この間、経済的な困窮や孤立といったSDH(健康の社会的決定要因)に関わる問題は深刻化しています。ヘルスサービスには、困難な状況にも関わらず社会から置き去りにされる人々への支援が一層求められています。

そこで、今回のスプリングセミナーでは、コロナ禍で人権問題と医療へのアクセス等に困難を抱える外国人についての講演を企画しました。講師には、外国人診療を先駆的に取り組んでこられた沢田 貴志氏(神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所、NPOシェア=国際保健協力市民の会)にお願いしました。外国人診療の経験や制度的な問題についてお話ししていただく予定にしています。

また、3つのワークショップを準備しています。第一に、国際HPHネットワークが新たに発行した自己評価マニュアル(2020HPH基準)を学ぶ企画です。第二に、気候危機へのヘルスサービスの対応について学ぶ企画です。このワークショップでは、南齋 規介氏(国立環境研究所 資源循環領域(国際資源持続性研究室、室長))に「ヘルスサービスと気候危機~ヘルスサービスとしてカーボンニュートラル社会への対応を考える~」について講演していただくことにしています。第三に、平和と戦争とヘルスプロモーションに関する企画です。戦争のない平和な世界はヘルスプロモーションの前提条件であり、様々な報告を通して平和について学びあう企画としています。

多くの皆様のご参加を期待しています。

LIVE企画

2022年 3月5日(土) 13:00~18:00

講演

「SDGsからみた 在住外国人の医療と支援」

沢田 貴志氏 (神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所、
NPOシェア=国際保健協力市民の会)

((○)) オンデマンド配信

2022年3月15日[火]~4月22日[金]

LIVE配信後、講演およびWS2の講演を約1ヶ月間
オンデマンド配信いたします。

ワークショップ

WS1

ー2020HPH基準を学ぶー
「新しい自己評価
マニュアルに
どう対応する？」

定員:50名

WS2

「気候危機とヘルスサービス
~ヘルスサービスとしてカーボン
ニュートラル社会への対応を考える~」

講師

南齋 規介氏
国立環境研究所 資源循環領域
国際資源持続性研究室室長

WS3

ー平和とヘルスプロモーションー
「破壊、嘆き、そして死を
もたらずもの、それは戦争。
調和、喜び、そして生を
もたらずもの、それは平和」

お申込み

2022年1月17日[月]10:00~
2月18日[金]15:00

申し込み
QRコード

※1名につき1アカウント(メールアドレス)が必要です。
※参加費の振込確認後、3月1日(火)および3月4日(金)に
視聴ページのURLとパスワードをお送りする予定です。

参加費

HPH加盟 3,500円 HPH非加盟 4,000円 大学生・大学院生 1,000円

J-HPH 第7回 スプリングセミナー

LIVE企画 | 2022年3月5日[土]

13:00~13:05

開会あいさつ

13:05~14:30

■講演

「SDGsからみた在住外国人の医療と支援」

沢田 貴志氏

(神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所、NPOシェア=国際保健協力市民の会)

■ワークショップ1(定員50人) — 2020HPH基準を学ぶ —

「新しい自己評価マニュアルにどう対応する？」

2020年版のHPH基準(Standard)が出て、2006年と比べると大きく変更されています。新しい基準を見ながら、自分たちの事業所でできているところ、不十分なところを洗い出して、今後、どのようにできているところはどうか発展させ、あるいはアウトカムを測定するのか、できていないところはどのように整備していくのか、グループでディスカッションします。

14:40~17:40

■ワークショップ2

「気候危機とヘルスサービス

～ヘルスサービスとしてカーボンニュートラル社会への対応を考える～」

気候危機は、熱中症の患者の増加もあり私たちにとって身近で切迫した課題となっています。しかし、一方で、ヘルスサービスは温暖化ガスを排出する主要な産業の一つでもある事を知る必要があります。温暖化ガス排出削減のための行動を始めるには、ヘルスサービスのどのプロセスで温暖化排出ガスが排出されるのかを科学的に知る必要があります。今回のワークショップでは、日本における医療介護産業の温暖化ガスの排出量を算出した国立環境研究所の南齋 規介先生を講演の講師に招き学習することにしていきます。さらに、既に対策に取り組んでいる施設の好事例の経験も交流し、各事業所での今後の実践を促進することを目的に開催します。

■ワークショップ3 — 平和とヘルスプロモーション —

「破壊、嘆き、そして死をもたらすもの、それは戦争。 調和、喜び、そして生をもたらすもの、それは平和」

私たちは憲法9条のある日本で戦争を知ることもなく生活していますが、世界各地では今も戦争が起きています。戦争は無差別に人命を奪い、医療を受ける権利を奪い、生活を破壊し生きる希望を打ち砕きます。WSではパレスチナや世界各地の紛争地で起きている健康破壊、原爆から76年経ってもまだ終わらない広島の被爆被害、旧日本軍の遺棄した毒ガス兵器が現代中国に起こした被害の現実とそれらに対する懸命な医療活動、戦争や核兵器の根絶を願う医療人の活動をそれぞれの現場から報告します。戦争のない平和な世界を築くことはHPHに欠かせない課題であることが納得できるWSです。

17:50~18:00

閉会あいさつ